

# 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～

Vol. 5 発行 横須賀市教育委員会 2023.5



3月29日に開催した第5回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会の内容についてお知らせします。

## ○第5回地域別協議会の主な議題

- 1 第4回地域別協議会での整理（検討スケジュール及び学校施設の状況等）
- 2 教育環境整備の検討（田浦地域における通学について）

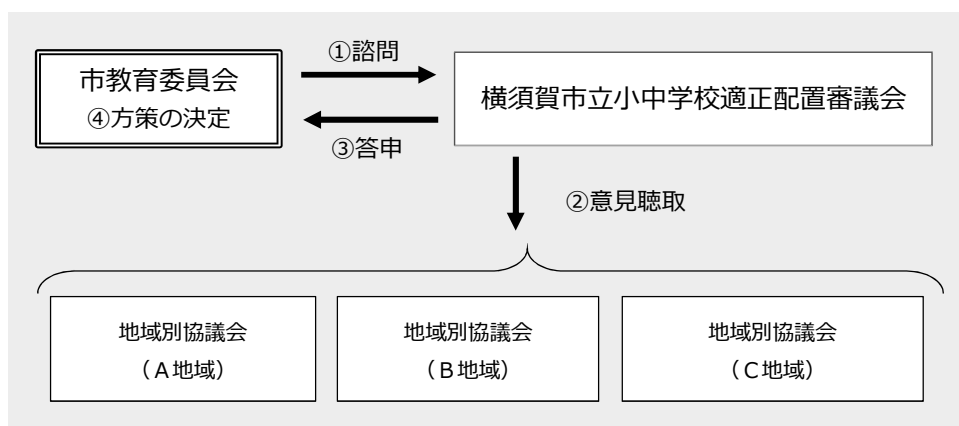
## 1 前回協議会での整理

### （1）検討スケジュールについて

第4回協議会において、具体的な検討スケジュールを明示し通学路の安全確保等の懸案事項に関する具体的な議論へとつなげていきたいというご意見を頂きました。

全市的に児童生徒が減少し、学校施設の老朽化も進んでいる状況を踏まえ、本協議会においても議論のポイントが絞られてきたことから、5月に開催する第6回協議会において意見をまとめ、横須賀市立小中学校適正配置審議会に報告することとしました。

その後、審議会において、「田浦地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る方策等について」の答申を行い、その答申に基づき、教育委員会が教育環境整備の方策を決定します。



## (2) 学校施設の状況について

田浦小学校の検討を、いずれ建て替え時期を迎える船越小学校及び田浦中学校の検討と合わせることにについてご意見を頂きました。

船越小学校と田浦中学校は、建築年数を考えると検討時期が約15～20年先となります。田浦小学校の検討は、そこまで先延ばしにすることができない状況ですので、まずは喫緊の課題に着手し、段階的に取り組んでいきたいと考えています。

学校	建物名	階数	延床面積	建築年度		建築年数	残年数 (※)
				西暦	和暦		
田浦小学校	教室棟	3	1,190㎡	1953年	昭和28年	69年	11年
長浦小学校	教室棟	4	2,119㎡	1991年	平成3年	31年	49年
船越小学校	管理教室棟	3	1,113㎡	1965年	昭和40年	57年	23年
田浦中学校	体育館	1	779㎡	1963年	昭和38年	59年	21年

※「横須賀市学校施設の長寿命化計画」における目標耐用年数の80年までの残年数です。

## 2 田浦地域における通学について

通学路の危険箇所や安全確保策についてご意見を伺いました。

- 自治会及び町内会の思いもあると思いますが、田浦4、5、6丁目の児童にとっては船越小学校に通学した方が便利かつ安全だと思えますし、港が丘1丁目についても、トンネルのことを考えると、船越小学校の方が通学面で安心できると思えます。
- トンネル内を児童に歩かせるのはあり得ないと思えますし、道路が国道なので、市のみでの対応は難しいため、環境がすぐに改善されるとは思えません。スクールバスまたは路線バスの案が出てきますが、それだけでは安全面で不安があるので、登校ボランティアの配置も考えられると思えます。
- 地域福祉の役割を担う民間施設の力を借り、高齢者の送迎車両を使わせてもらう手段も考えられると思えます。
- 田浦小学校に通わせるために家を建てたというご意見もあったことを踏まえると、公共交通機関を利用することにはならないと思えますし、その部分も含めてスクールバスが必要だと思えます。
- スクールバス以外の選択肢であれば、バスの交通費に対する補助を申請するスタイルも提案したいと思えます。
- 自転車は車道を走るように指導するのが基本です。
- 例えばバスの交通費の補助が半分といった場合に、経済的な理由から、児童を徒歩で通わせるご家庭も出てくると思えますので、通学路となるトンネルの出入り口にボランティアを配置する必要が出てくると思えます。

経費面においてボランティアの配置とスクールバスの導入のどちらが安いのかについても検討課題になると思えます。

- スクールバスまたは路線バスとの併用等の方策はあると思いますが、こうした部分をクリアできれば、自治会の区割りについては現状のまま問題ないと思います。
- 通学の時間帯では、児童のみ通行可能とするといった制限をつける等の調整も検討していただければと思います。
- トンネル内の歩道を歩いていると、バスやトラック通過時の衝撃や風圧がすごいので、非常に危険だと思いますし、こうした危険を避けられる方法を強く望みます。
- スクールバスについては、例えばワンボックスカーを走らせることの検討も必要だと思いますし、田浦地域各地にある狭い場所までいかにして入れるかが大きいと思いますので、通学の時間も含めて第一に考えていただきたいです。

### 3 その他の主な意見の概要について

#### (1) 地域について

- 行政区が異なるため、例えば同じ長浦小学校でも、お互いの地域の情報を知らないという現状があります。行政区と通学区域が異なると、地域としても悩ましいところがありますので、この点も踏まえて慎重に検討していただきたいです。
- 田浦小学校の運動会や祭りは田浦地域でやってきていますが、学区が分かされると、運動会や祭り等の行事に子どもたちが参加しなくなってしまうので、田浦小学校区を分けることは反対です。

#### (2) 跡利用について

- 学校がなくなることで人口が減少してしまった場合、跡利用も何もないのではないかと思います。地域活性について行政はどのように考えていますか。  
⇒人口減少については、一つ一つの施策等の積み重ねが必要であり、学校の有無に関わらず、全市的に取り組むべきものだと考えます。
- 民間の保育園の子どもたちは、運動会等で田浦小学校を使用している現状がありますので、田浦地域の子どもたちが使えるような場所とするとともに、田浦青少年自然の家も廃止となりますので、地域の方のコミュニティの場についても検討していただきたいです。
- 跡利用として、買い物の他にも役所屋のような機能を持った場所があれば便利ではないかと思います。
- 学校は地域の防災拠点という役割もありますので、田浦地域の住民が安心して暮らすという視点を踏まえて、地区センターのようなものが考えられると良いと思いました。
- 田浦小学校は広域避難地になっていますし、避難時に張れるテントもかなり少ないという現状がありますので、今後のためにも、広域避難地の整備はお願いしたいです。

#### 4 次回、第6回地域別協議会の開催について

日時 令和5年5月19日（金）19時00分～20時30分

場所 長浦コミュニティセンター 集会室兼体育室

※傍聴できます。18時50分までに直接会場にお越しください。

定員10名（定員を超えた場合は抽選）



#### 教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



#### ～皆さまからのご意見等を受け付けております～

ご意見等がございましたら、以下のファクスかE-メールまでお願いいたします。

#### 事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849

E-メール [sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp)

横須賀が好き!

